

令和6年度 群馬県総合教育会議

群馬県立みらい共創中学校の取組説明



令和6年6月18日(火)

みらい共創中学校が目指す教育

安心

年齢や国籍に関わらず多様な人々にとって安心して学べる環境を整え、

未来

一人一人の思いや願いを自らの力で実現し、

共創

多様な人々と共生しながら、自立して、よりよく豊かに生きるために

必要となる資質・能力を育成する。

みらい共創中学校の概要

<対象生徒>

群馬県内に在住する満15歳を超えた人 ※国籍は不問

※令和6年4月に第1学年～第3学年を開設

<定員>

各学年35名以内

<入学>

年間を通じた入学や、第2学年または、第3学年への入学も可能

<学校教育目標>

共に生き 共に学び 共に未来を創る

<令和6年度学校経営方針より>

最優先事項：安全の確保

教育の理念：一人一人に寄り添った支援

みらい共創中学校の現状①

<生徒数の推移>

	4月1日時点	6月18日現在
第1学年	29人	35人
第2学年	1人	7人
第3学年	5人	6人
合計	35人	48人

<生徒の年齢層> 6月18日現在(48人)

10代	20代	30代	40代	50代	60代
15人	7人	6人	7人	7人	6人

みらい共創中学校の現状②

<生徒の居住地> 6月18日現在(48人)

前橋	高崎	伊勢崎	太田	大泉	その他
6人	2人	26人	9人	2人	3人

<生徒の国籍> 13か国 6月18日現在(48人)

ペルー	ブラジル	日本	フィリピン	中国	ネパール	ベトナム	その他
12人	11人	7人	5人	3人	2人	2人	6人

みらい共創中学校の教育活動①

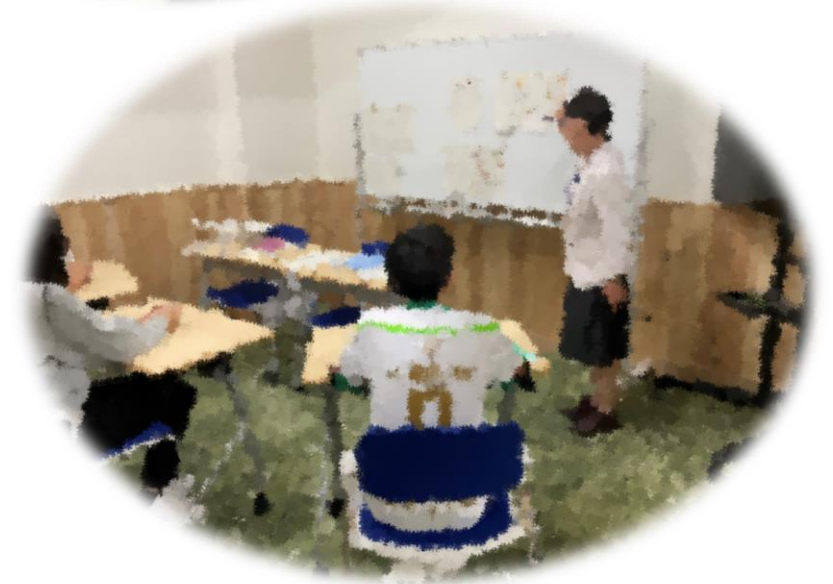
<目指す資質・能力>

- (1) 基礎的・基本的な知識及び技能
- (2) 主体的に解決する力
- (3) 協働的に活動する力
- (4) 規範意識に基づき行動する力
- (5) 健康を保とうとする態度

みらい共創中学校の教育活動②

<特色ある取組>

- (1) 個に応じた授業
- (2) 協働的に学び合う授業
- (3) ICTを活用した授業
- (4) 実践的なキャリア教育
- (5) 丁寧な日本語指導
- (6) 安心できるサポート体制



授業の様子①（一例）



いわし（煮干し）の解剖

理科

身近な事象を扱うとともに、
体験的な学習を行うことで生
徒の興味関心を高め、主体的
な学習となるよう工夫してい
る。

授業の様子②（一例）



技術

一人一台端末を活用するなど、実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成するよう工夫している。

授業の様子③（一例）



小グループによる意見交流

道徳

年齢や経験等の違いによる多様な意見を交流することで、生徒一人一人の考えを深められるよう工夫している。

授業の様子④（一例）



日本語指導 （取り出し指導）

日本語の習熟度により、現在4グループに分かれて少人数指導を実施している。

ICTを活用して視覚的な理解を促すなど、生徒一人一人と対話しながら学習を進めている。

本校の課題及び今後の取組について

(1) 安心・安全な学びの場の充実

誰もが主体的・意欲的に学ぶことができる場所と時間を確保し、自らが持っている力を互いに発揮し合って、変容を実感できる環境の充実を目指す。

(2) 生徒一人一人に寄り添った支援の充実

多様な生徒一人一人の思いに寄り添った支援を充実させ、社会の一員として共生しながら、自立して、よりよく豊かに生活できる資質・能力の育成を目指す。

(3) 日本語指導体制の充実

生徒の実態に応じた支援ができるよう、カリキュラムを工夫するなどして、効果的・効率的な指導体制の充実を目指す。